

記念切手贈呈式での市長の発言に対する申入れ

去る令和6年4月23日に行われた「エアーメモリアル in かのや」記念切手贈呈式の際の市長の不適切で不謹慎な発言は、鹿屋市議会として断じて許されるものではありません。

市長の発言は人命の尊厳を冒瀆するものであり、基地とともに発展してきた鹿屋市の歴史に大きな汚点を残すこととなりました。自衛隊はもとより市民に対してもこれまで築き上げた信頼関係を損なうありえない発言であり、今後の市政運営にも大きな影響を及ぼす可能性があります。

市民及び県外からも、発言の取消や謝罪のみで済ますことなく、厳重な処罰を求める声が届いています。

鹿屋市議会としては、今回の市長発言に対して厳重に抗議するとともに以下のとおり誠意ある対応を求めます。

- すべての方々に対し、早急に議会において市長が心から謝罪されることを求めます。
- 市長におかれては、事の重大さと影響の大きさを今一度厳粛に受け止め、二度と同様なことが無いよう猛省されることを強く求めます。
- 今回の発言に対する自らの責任をどのように果たされるのか、市長自らの判断において、対処されることを強く求めます。

令和6年5月20日

鹿屋市議会
議長 花牟礼 薫



鹿屋市長 中西 茂 様